

| プランの項目 | | | 事業名 | 事業概要 | 実施状況(20年度) | 平成20年度 最終予算額 (千円) |
|--------------------------|-------------------|----------------------|--|--|------------------------------|-------------------------|
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | | | | |
| 1 生涯学習推進の環境づくり | (4) 生涯学習施設の効果的な運営 | ② 府立施設等における学習活動の推進 | 府立図書館(中央・中之島)の運営 | 教育、文化、学術等の振興を図る拠点として、総合的な図書館サービスを提供し、生涯学習や文化活動に対する府民ニーズに対応するため、府立図書館を運営する。(教育委員会) | *入館者数: 934,893人 | 668,257 |
| | | | 視聴覚教育振興事業 | 学校教育及び社会教育における視聴覚教育のための学習教材を提供するため、府立中央図書館にある大阪府視聴覚ライブラリーを運営する。(教育委員会) | *貸出教材: 910点 | 994 |
| | (5) 総合的な生涯学習体制の推進 | | 大阪府文化・生涯学習推進本部の運営 | 大阪府における文化・生涯学習施策の総合的な推進を図るため、大阪府文化・生涯学習推進本部を運営する。(生活文化部) | 同左(平成21年3月31日付廃止) | 0 |
| | | | 生涯学習ネットワーク総合推進事業 | 文化・生涯学習施設である府立文化情報センターと府内市町村、大学などの高等教育機関とのネットワークをはじめとして、生涯学習推進主体のネットワークを総括し、相互交流や情報共有化推進のための各種事業を推進する。(生活文化部) | *研修会・交流会: 1回実施 | 377 |
| | 2 重点方向に向けた取り組み | (1) キャリアアップをめざした生涯学習 | 大阪地域職業訓練センター(Aワーク創造館)における情報提供(再掲) | 職業に関して困難な課題を抱える労働者等に対する職業能力の向上を図るため、大阪地域職業訓練センターを運営管理する(財)大阪生涯職業教育振興協会において、広く府民を対象にパソコン、インターネット、マネジメント、語学など幅広い講座を実施しており、様々な情報媒体を活用して、それらの情報提供を行う。(商工労働部) | *講座数: 177講座 *受講者数: 2,100人 | 43,353 |
| 能力開発プラザ事業 | | | 事業主、求職者、求職者等、府民の多様な職業能力開発ニーズに応えるため、他の労働行政サービス機関等と連携しながら、職業能力向上のための講座等の実施、職業能力開発に関する相談、情報提供等を行う(平成19年度末閉鎖)。(商工労働部) | *安全衛生特別教育、資格取得講座等の実施 *各種相談、情報提供 *相談件数957件 | 7,127 | |
| 高等職業技術専門校再編整備事業 | | | 平成14年12月に策定した「府立高等職業技術専門校再編基本構想」に基づき、大阪府南地域、北地域をそれぞれにおいて老朽化・稼働していない2校を閉校し、1校を新設するもの。平成18年度当初の南大阪校閉校によって南地域校の再編整備が完了し、平成19年度からは北地域校の再編整備に着手している。平成20年度においては、新設予定の北部校(仮称)の基本構想を取りまとめる。(商工労働部) | *H21.3 東淀川校閉校 *H21.3 北部校(仮称)基本構想策定 | 債務負担行分 (~22年度) 420,000 | |
| 離職者の支援及び就職困難者に対する委託訓練の実施 | | | 離職者や働く意欲、希望を有しながら様々な障害を抱え、雇用・就労を実現できないという方等の再就職を支援するための多様な職業訓練を専修学校、事業主団体及びその他の民間教育訓練機関等に委託することにより実施する。(商工労働部) | *委託訓練科目数: 20コース *受講者数: 375人 | 70,275 | |
| 新規学卒者・離職者に対する公共職業訓練の実施 | | | 府立高等職業技術専門校において、普通課程及び短期課程の普通職業訓練を実施する。 (1) 訓練科目 機械・金属系、建築・設備系、土木系、農林系、電気・通信系、事務系、デザイン系、アパレル系、産業・販売系 (2) 訓練期間 6か月、1年、2年 (商工労働部) | *普通課程受訓生: 370人 *短期課程受訓生: 870人 | 416,887 | |
| 障がい者に対する職業能力開発の実施 | | | 大阪府障害者職業能力開発校及び社会福祉法人への委託により、普通課程及び短期課程の普通職業訓練を実施する。 (1) 訓練科目 身体障がい者: 情報システム系、OAビジネス系、製版アート系 他 知的障がい者: ワークサービス系、実務作業系、園芸系 他 (2) 訓練期間 1年又は2年 障がい者短期訓練(障がい者の態様に応じた多様な委託訓練) 障がい者の雇用促進に資するために企業、社会福祉法人、NPO、民間教育訓練機関等地域の多様な委託先を活用し障がい者の能力、適正及び地域障がい者雇用ニーズに対応した委託訓練を実施する。 (1) 訓練科目 パソコン実務系、インターシブコース 他 (2) 訓練期間 1~3ヶ月 (商工労働部) | *普通課程受訓生: 195人 *短期課程受訓生: 125人 *障がい者短期委託訓練: 655人 | 637,282 | |
| テクノ講座の実施 | | | 府立高等職業技術専門校及び大阪府障害者職業能力開発校において、主に在職者を対象とした短期課程の普通職業訓練を実施する。 (1) 講座内容 機械、溶接、電気・電子、建築・土木・情報処理、管理、OA、事務、F・I・S、農林、福祉 (2) 訓練時間 12時間~50時間 (商工労働部) | *受講者数: 998人 | 19,129 | |
| 認定職業訓練の実施促進 | | | 職業訓練が体系的に行われることにより、職業の安定と労働者の地位向上を図ることを目的に、事業主等がその雇用する従業員に対して行う職業訓練で、法に定める一定の基準に適合する等が認定し、その実施を促進する。(商工労働部) | *認定訓練施設数: 40施設 (補助対象施設) | 73,710 | |

| プランの項目 | | 事業名 | 事業概要 | 実施状況(20年度) | 平成20年度 最終予算額 (千円) |
|--|--|--|--|---|-----------------------------|
| 大項目 | 中項目 | | | | |
| 2 重点方向 に向けた 取り組み | (1) キャリアアップを めざした生涯学習 | おおさか技能 フェアの実施 | 職業能力開発と技能検定等の普及を通じ、技能者の養成・発展と能力の開発向上を図るため、技能者等高度の職域や技能者の地位向上について広く啓発することを目的に、職業能力開発促進月間の11月、大阪府職業能力開発協会、大阪府技能士会連合会と共催で、「おおさか技能フェア」を開催する。(商工労働部) | *開催日：11月7日・8日 *入場者数：5,000人 | 1,627 |
| | | 大阪府生涯学習 情報提供システム (再掲) | 大阪府、市町村、大学、民間カルチャーセンターなどが実施する講座などの生涯学習情報をインターネットを通じて提供する「大阪府生涯学習情報提供システム」を運営する。(生活文化部) | *アクセス件数：483,467件 | 4,856 |
| | | 関西文化学術研 究都市整備費 (関西文化学術 研究都市推進機 構等による公開 講演会等の開催) | 我が国の文化・学術・研究の重要な拠点である関西文化学術研究都市で、(財)関西文化学術研究都市推進機構により公開講演会等を開催。(政策企画部) | *関西文化学術研究都市6大学連携「市民公開講座2008」参加数242人 *けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2008 参加数141人 | 11,603 |
| | | 若年者向け訓練 の実施(大阪府 デュアルシステ ム訓練事業) | 高校、大学等を卒業後、本格的な雇用に至らない若者(フリーター、無業者等)に対し、民間教育訓練機関等での訓練と企業での実習を組み合わせた職業訓練を提供し、若年者の早期安定就労を支援する。(商工労働部) | *技能校活用型 ・訓練科目数：1コース ・訓練生：12人 *委託訓練活用型 ・訓練科目数：8コース ・受講者数：141人 | 31,032 |
| | (3) 大阪の文化的蓄積 を活用した生涯学 習 | 大阪府文化振興 条例の推進 | 行政をはじめ府民、企業などが協働・連携して文化振興を推進し、心豊かで潤いのある府民生活の実現と個性豊かな活力ある地域社会の創造に寄与することを目的とする大阪府文化振興条例(平成17年4月1日施行)の趣旨を総合的かつ効果的に推進するため、大阪府文化振興会を設置して策定した文化振興計画の推進に努める。(生活文化部) | 「おおさか文化プランの施策進捗状況」とりまとめ | 211 |
| | | 大阪楽座事業 | 民間団体が主催する府内の歴史的建造物を活用した文化活動を公募し、優れた企画に対して補助金を交付する。(生活文化部) | *事業数：14件 | 5,262 |
| | | 大阪文化再発見 事業 | 意外と知られていない大阪(大阪文化)を府民に伝え、興味・関心を持ってもらうことを目的とした「大阪文化再発見講座」や「人づくり」を目的とした「人材養成講座」などから構成される大阪の文化を紹介した講座を府立文化情報センターにおいて実施する。(生活文化部) | *大阪文化再発見講座 ・7回実施 参加者数のべ1,393人 *大阪まち歩き講座 ・2回実施 参加者数のべ81人 *トークサロン ・1回実施 参加者数のべ260人 *人材養成講座 ・2回実施 参加者数のべ258人 *斬新にわらわ講座 ・1回実施 参加者数のべ747人 | 950 |
| | | おおさか・元氣・ シリーズ事業 | 大阪ゆかりの伝統芸能など府民に親しい芸術文化に触れる機会を提供することで、将来の鑑賞者を育成し、芸術文化の活性化を図る。(生活文化部) | *管・弦音楽鑑賞者：3,463人 *文楽鑑賞者：2,834人 | 16,568 |
| | | 所蔵美術作品の 有効活用 | 現代美術の代表的作家の作品や大阪トリエンナーレの入選作品など大阪府が所蔵する美術作品の展示機会を増やすほか、「大阪府りんくう現代美術空間」など様々な場所で府民が鑑賞できるように展示する。<18年度から指定管理者制度を導入>(生活文化部) | *大阪府所蔵作品展 ・開催回数：4回 | 21,458千円(府立現代美術館センターの運営の一部) |
| | | インターネット 美術館推進事業 | 大阪府所蔵美術作品のデータベースを活用し、作品、作家等の情報をインターネットを通じて検索・閲覧できるようにするとともに、ホームページで公開するインターネット美術館を運営する。<18年度から指定管理者制度を導入>(生活文化部) | *作品画像700点 | 21,458千円(府立現代美術館センターの運営の一部) |
| 大阪センチュ リー交響楽団の 運営補助 | 府民の高度化する音楽ニーズに応えるため、財団法人大阪府文化振興財団が平成元年に創設した大阪センチュリー交響楽団の運営に対する補助を行う。(生活文化部) | *演奏楽数：125回 | 390,000 | | |
| 音楽文化振興事 業 | 府民の音楽活動の促進や音楽文化の振興を図るため、青少年を対象に吹奏楽などの技術的な指導や相談、音楽祭や打楽器等の講習会を行う。(生活文化部) | *音楽指導事業：1団体・年間7回 計42団体 *ミュージックキャンプ：年1回 *管・打楽器講習会：年1回 | 1,438 | | |
| (社)大阪フィ ルハーモニー協 会補助金 | 大阪の音楽文化の振興をめぐり、府民に音楽の鑑賞機会を提供する(社)大阪フィルハーモニー交響楽団を運営している(社)大阪フィルハーモニー協会に対して、府、府、大阪府が協力して助成する。(生活文化部) | 同左 | 63,000 | | |
| 芸術文化振興補 助金 | 府民に優れた芸術鑑賞の機会を提供するため、文化芸術団体が自主的に行う有意義な事業のうち、文化を通じた次世代育成に寄与する事業に対して補助金を交付する。(生活文化部) | *交付事業：12事業 | 10,213 | | |
| 歴史街道推進協 議会分担金(歴史 街道推進協議会 による情報発信) | 歴史街道推進協議会の活動を通じ、「歴史街道計画」や関西の歴史・文化に関する情報発信活動を強化する。(政策企画部) | 同左 | 500 | | |

| プランの項目 | | | 事業名 | 事業概要 | 実施状況(20年度) | 平成20年度 最終予算額 (千円) |
|---|-----|---------------|----------------------------------|---|---|-----------------------------|
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | | | | |
| 2 重点 方向 に向け た取 組 | (4) | IT社会に対応した生涯学習 | 大阪府生涯学習情報提供システムの運営(再掲) | 大阪府、市町村、大学、民間カルチャーセンターなどが実施する講座などの生涯学習情報をインターネットを通じて提供する「大阪府生涯学習情報提供システム」を運営する。(生活文化部) | *アクセス件数：483,467件 | 4,856 |
| | | | インターネット美術館推進事業(再掲) | 大阪府所蔵美術作品のデータベースを活用して、作品、作家等の情報をインターネットを通じて検索・閲覧できるようにするとともに、ホームページで公開するインターネット美術館を運営する。<18年度から指定管理者制度を導入>(生活文化部) | *作品画像700点 | 21,458千円(府立現代美術館センターの運営の一部) |
| | | | スポーツ情報提供事業 | スポーツに関する様々な情報(施設情報、教室情報、イベント情報、メールマガジン等)をインターネットを通じて提供する「なみはやスポーツネット」を運営する。(生活文化部) | *アクセス数：29,042件 | 2,646 |
| | | | ドーンセンター情報ステーション事業 | 女性に関する情報を幅広く収集・提供し、女性情報に関するネットワーク拠点を運営する。(生活文化部) | *ライブラリー利用者数：32,640人 | 26,151 |
| 3 多 様 な 学 習 活 動 の 推 進 | (1) | ① 人権意識の高揚 | 人権啓発事業 | 府民の人権意識の向上を図るため、各種人権啓発事業を実施する。(政策企画部) | *おおさか人権情報誌そうぞう No.25の発行 *人権情報ガイドゆまにてなにしりぞvol.23の発行 *人権啓発ラッピングバスの運行等 | 53,231 |
| | | | 大阪府人権教育推進計画の推進 | 人権という普遍的文化的の確立を図るため、「人権が重視される社会基盤の構築」「人権教育の推進」に向けた各事業を実施する。(政策企画部) | *人権学習シリーズ 入門ガイドの発行 *第16回大阪府人権教育推進懇話会の開催 | 2,937 |
| | | | 大阪国際平和センター(ピースおおさか)の運営(再掲) | 府民の平和意識の醸成を図るため、戦争や平和に関する資料の収集・保存・展示や講演会等の開催を行う大阪国際平和センターに対し補助を行う。(政策企画部) | *入館者数：71,317人 | 64,287 |
| | | | アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)の運営(再掲) | 国際化時代に対応した府民の人権意識の高揚と、アジア・太平洋地域への多方向な交流の一環として、国際人権情報交流拠点となるアジア・太平洋人権情報センターの運営等に対し補助を行う。(政策企画部) | *入館者数：310人 *講座等参加者数：1,596人 *情報・研修等の相談：293件 *ホームページアクセス数：392万件 | 51,549 |
| | | | ドーンセンター事業 | 大阪府立女性総合センター(ドーンセンター)において実施される各種の生涯学習等の事業について、財団法人大阪府男女共同参画推進財団へ委託金を交付する。(生活文化部) | *主催事業参加者数：583人 | 933 |
| | | | 女性に対する暴力対策事業 | 女性に対する暴力対策として、関係機関の連携を強化するとともに、「女性に対する暴力をなくす」キャンペーンの実施、研修生者を支える人材の養成等を図る。(生活文化部) | *人材養成支援講座参加者：206人 | 0 |
| | | | 隣保館の活用 | 地域住民を対象とした各種クラブ活動、レクリエーション、敬愛、文化活動等地域住民の交流を図る事業等を実施する。(健康福祉部) | 同左 | 234,521千円の一部(政令市・中核市を除く) |
| | | | 学校における人権教育の充実 | 人権尊重の国際的趨勢を踏まえ、人権に関する問題の正しい理解と人権感覚・意識の育成に努める。(教育委員会) | 同左 | 92,368 |
| | | | (財)大阪人権博物館(リバティおおさか)事業助成事業(再掲) | 向和問題、女性、民族、障がい者、環境問題など人権に関する歴史資料を収集保存・公開し、人権思想の普及と人間性豊かな文化の発展に資する向博物館の運営費等に対して助成する。(教育委員会) | *入館者数：46,847人 | 125,186 |
| | | | 地域青少年社会教育総合事業 | 青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることにより、地域の教育課題と人権問題の解決に資するため、市町村等に対する補助等を行う。(教育委員会) | *補助市町村等数：20市町30施設 | 80,496 |